

エコ・ファクトリーの実現に向けて

For the Realization of Eco-factory

第一回（2002年）NEC環境大賞準大賞受賞

NEC九州

NEC Kyushu, Ltd.

九州日本電気の取り組み概要

NEC九州は、1969年、緑豊かな田園都市熊本市に超LSIの半導体製造メーカーとして創設されました。NEC九州は、環境経営の基本理念である「環境と調和する技術と環境にやさしい半導体製品の生産活動をととして地域に融和し豊かな社会と環境の実現に貢献します」に基づき、環境保全に取り組んできました。

本稿では、その活動概要を紹介します。

NEC Kyushu was founded in 1969 for semiconductors ULSI in Kumamoto City where is blessed with the natural environment. Our Environmental Conservation Principle is as follows:

“NEC Kyushu will always be a constructive members of the local community and contributes to realization of a rich society and environment through technologies and manufacturing activities compatible with the environment”

This is our activity overview on this principle.


1. 取り組みの特徴

NEC九州は、「エコ・ファクトリー（環境にやさしい工場）の実現」のために環境負荷低減、リスク低減、環境意識啓発、地域との共生など、様々なテーマに取り組んできました。なかでも、環境負荷・リスク低減にかかわる廃棄物については、ゼロ・エミッションの達成にとどまらず、独自の指標を用いて一歩進めた取り組みを展開してきました。また、環境ISO認証取得後、すぐに関係会社や地元企業への認証取得支援や社内・外への環境意識啓発・支援など、積極的に行動しました。

2. 具体的な活動内容

2.1 再資源化の「質の向上」および「リスク低減」

NEC九州は、2000年にゼロ・エミッションを達成しました。その後さらに、再資源化の「質の向上」および「リスク低減」に取り組んでいます。まず、再資源化の「質の向上」とは、「マテリアル指数」という独自の基準を設定して、よりよい再資源化をめざした活動です。

この「マテリアル指数」は、工場から出るすべての廃棄物の処理方法を4つのレベル（再利用・再使用＞燃料化（助燃剤）＞焼却（熱回収）＞処分）に分けて点数化し、全体を最高レベルの再利用・再使用（このとき「マテリアル指数」が100）に導く指標です（）。現在の「マテリアル指数」は、

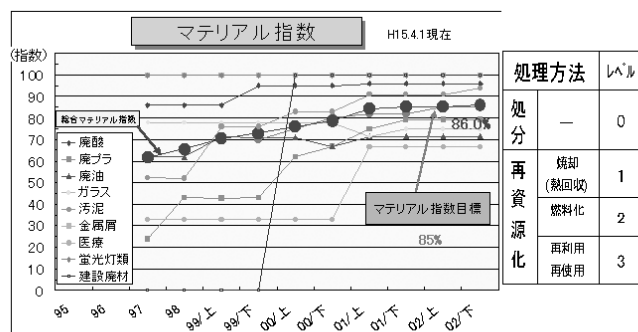


図 マテリアル指数の推移
Fig. Transition graph of material index.

85を超えています。

次は、ゼロ・エミッション継続のための「リスク低減」活動です。廃棄物ごとに再資源化受入れ能力を「安心度指標」として指標化しました。「安心度指標」は、受入れ先の1社が受入れ不可になっても再資源化が確保できる場合を「安心」レベルとし、「ちょっと不安」「不安」の3段階に分類したものです。すべての廃棄物が「安心」レベルとなるように活動し、現在約85%が「安心」レベルとなっています。

2.2 関係会社・地元企業への環境ISO 認証取得支援

1996年に九州の半導体製造メーカーでは初めてISO14001を認証取得しました。認証取得後すぐに、関係会社や協力会社などの地元企業に対し、システム再構築、内部監査計画立案や実施、模擬審査など、ISO要求事項への対応支援を行い、該企業の認証取得に貢献できました。

2.3 社内・外への環境意識啓発活動

1982年より年2回の環境月間活動、省エネルギーキャンペーンや「一滴の水を大切に」「分別は環境をまもる第一歩」など、計3冊の環境ハンドブックを発刊し、従業員の意識啓発を図っています。また、2000年から「環境フェスティバル」を開催し、環境活動紹介や環境講演などを通して環境マインドを育てる活動を推進し、身近なところから従業員の家族や地域に参画してもらう仕組み・しかけ作り、さらに国内・外の自治体、学校、各種団体の環境研修受入れや社外の環境展示会参画なども積極的に行っています。

3. むすび

上述した活動の結果、「通産省環境立地局長賞」「リサイクル推進協議会会長賞」を2回、最近では「くまもと環境賞」など、社会からも評価を受けました。テレビ・新聞・雑誌の取材にも積極的に協力し、数多く報道されています。今後も、「エコ・ファクトリーの実現」に向けた活動を通して、地球環境保全に貢献していきます。